

平成22年4月28日



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

配布先	■長岡市市政記者会 ■週旬刊記者会
取扱	発表をもって解禁

信濃川河川事務所 平成22年度の事業計画について

○平成22年度の国土交通省信濃川河川事務所の事業計画がまとまりましたのでお知らせ致します。

○地域の安全・安心の早期確保や良好な水辺空間の創出に向け、平成22年度は予算配分額9,369百万円※により事業を実施します。

※ 業務取扱費を除く

平成22年度事業のポイント

※事業箇所的位置図、事業費の詳細は、2ページをご覧ください。

◆ポイント① 2箇所事業が完成！ 効果を発揮します。

○長岡市 信濃川 西蔵王地区弱小堤対策の完成	…3ページ
○長岡市 信濃川 蓮湯地区かわまちづくりの完成	…4ページ

◆ポイント② 早期の完成を目指し、継続して事業を推進します。

○燕市・長岡市 信濃川 大河津可動堰改築の整備推進	…5ページ
○長岡市 信濃川 与板（岩方）地区弱小堤対策の推進	…6ページ

◆ポイント③ 地域の安全・安心を守るため、新たに事業に着手します。

○長岡市 信濃川 与板（本与板）地区弱小堤対策の推進	…6ページ
○長岡市 洩海川 下山地区弱小堤対策に着手	…7ページ

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所

副所長(技術) 増田 孝幸(ますだ たかゆき) 電話 0258-32-3020(代表)
調査課長 大作 和弘(おおさく かずひろ) 電話 0258-32-3243(調査課直通)

★本資料は、信濃川河川事務所のホームページでもご覧いただけます。

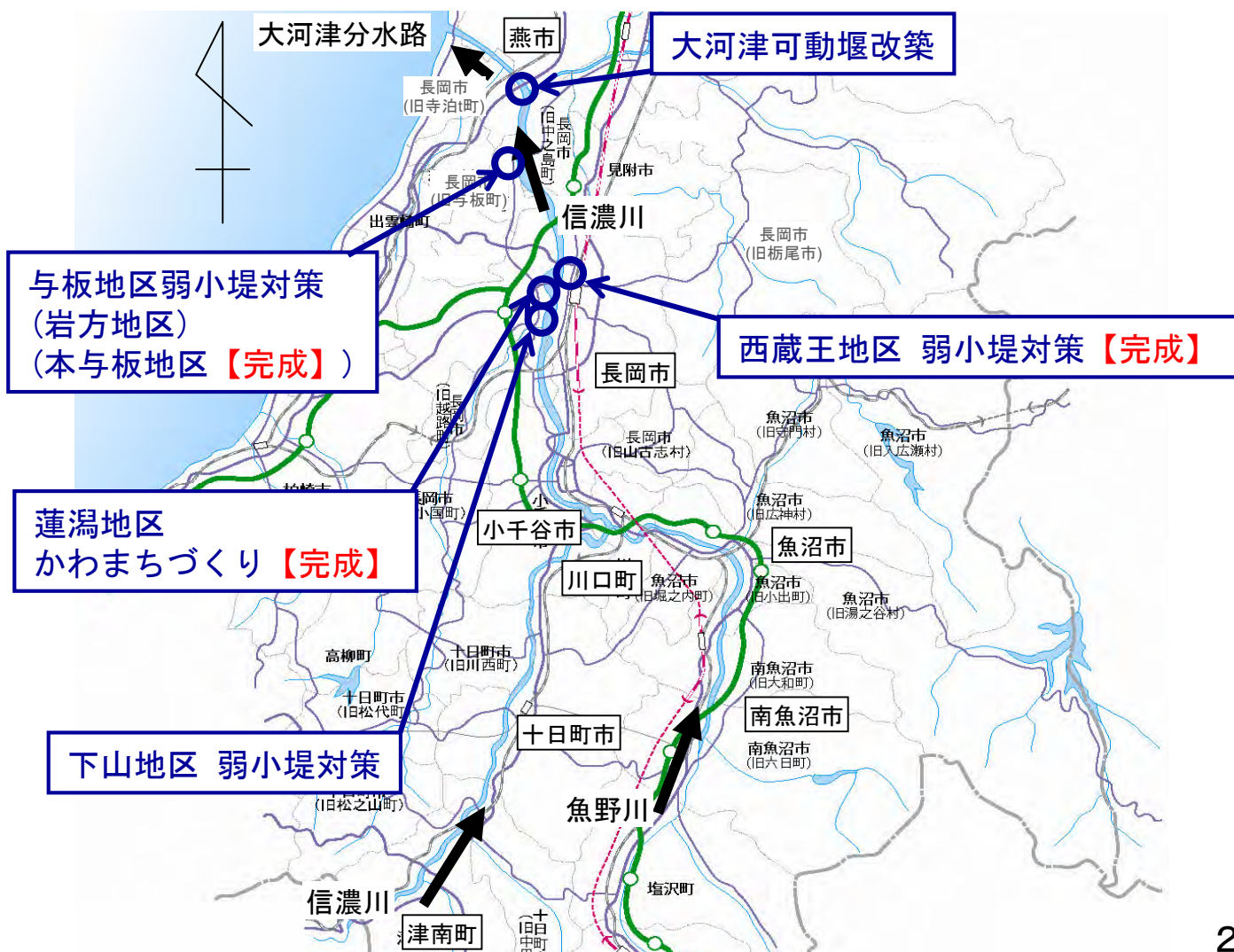
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano>

■平成22年度 信濃川河川事務所の予算配分額

	平成21年度 (当初、補正計) 配分額	平成22年度 (当初) 配分額
一般河川改修	4, 165	1, 678
特定構造物改築事業	6, 855	6, 418
河川環境整備	65	243
維持修繕	1, 110	1, 030
災害復旧事業等	16	0
合計	12, 211	9, 369

単位：百万円（業務取扱費を除く。数値は端数調整を実施）

■平成22年度 事業箇所 位置図



(新規・完成・主要) 事業箇所 (直轄・補助) 事業

にしごおう
西蔵王地区 弱小堤対策の完成
にいがた ながおか
新潟県長岡市

事業の概要

信濃川右岸の長岡市西蔵王地区の堤防は、コンクリートで造られた特殊堤となっており、昭和37年の設置から50年近くが経過し、老朽化が顕著となっています。また河川敷の幅が不足していることから、洪水に対する安全度が低い状況となっています。

堤防の背後には住宅地や地域経済を支える工場があることから、本箇所で氾濫した場合、甚大な被害となることが想定されるため、洪水を安全に流下させることを目的に、長岡市道の整備と連携して堤防の整備を完成させます。

整備効果

築堤と護岸の整備により、信濃川の治水安全度を向上させます。

事業着手

平成21年度

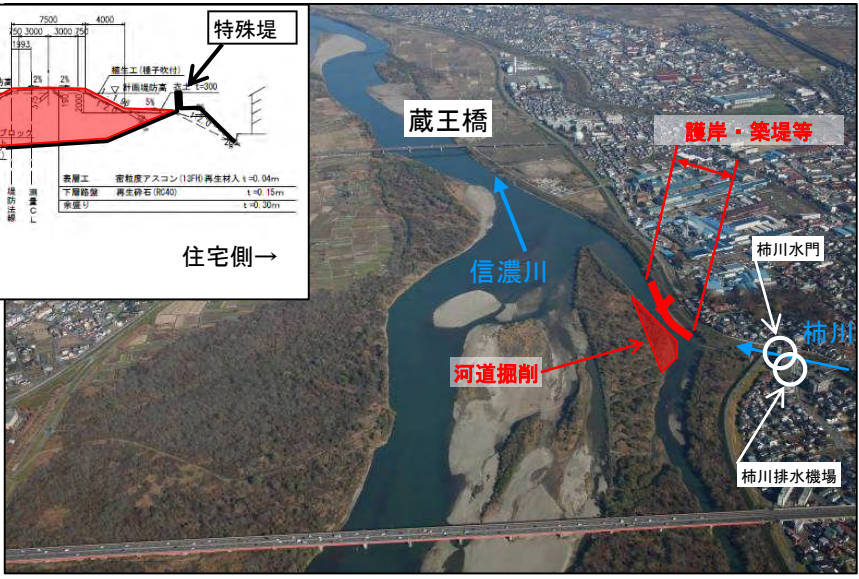
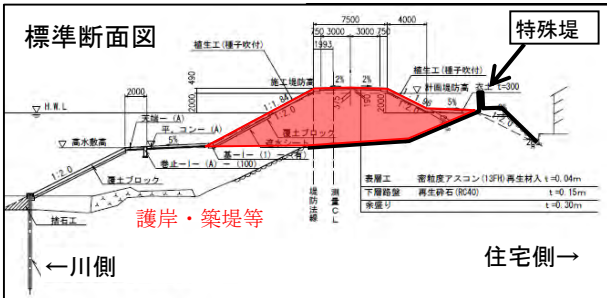
平成22年度の事業内容

川の断面積を確保するための掘削を行うとともに、築堤と護岸等の整備を実施し、一連区間の堤防整備を完成させます。

位置図



老朽化が顕著な特殊堤



【暮らし・環境】（新規・**完成**・主要）事業箇所（直轄・補助）事業

はすがた
蓮潟地区 かわまちづくりの完成
 にいがた ながおか
新潟県長岡市

事業の概要

信濃川蓮潟地区は、長岡市市街地を背後に抱え、日頃からジョギングや散策などの健康増進の場として多くの人々に親しまれています。また毎年8月に開催される長岡まつり大花火大会では、メイン会場として約80万人の観光客が訪れています。一方、長岡市では「長岡市緑の基本計画(H14.8策定)」において緑化重点地区に指定しており、背後地において医療・福祉・健康など各機能を併せ持ったまちづくりがなされ、背後地と一体となった豊かで良好な河川環境を形成しています。

このようなことから、本事業において、河川整備と地域計画との整合を取りながら、更なる良好な水辺空間、まちづくりの形成を図ります。

整備効果

更なる健康増進の場の提供と花火大会の観覧場所が増えることによる利用者の増加が見込まれ、観光振興へ大きく寄与する形で地域活性化に貢献することが期待できます。

事業着手

平成17年度

平成22年度の事業内容

堤防強化盛土（緩傾斜盛土）の整備を完成させます。



(新規・完成・**主要**) 事業箇所 (**直轄**・補助) 事業

おおこうづかどうぜき
大河津可動堰改築の整備推進
にいがた ながおか つばめ
新潟県長岡市、燕市

事業の概要

大河津可動堰は、信濃川と大河津分水路の分派点に位置し、昭和6年に完成して以来、洗堰とともに大河津分水の根幹的施設(分流制御施設)として、治水、利水機能等に大きな役割を果たしてきました。しかし、設置後70年以上経過し、施設本体の老朽化が顕著となるとともに、流下能力が不足し、その抜本的対策が急務となっていることから平成25年度の完成を目指して改築事業をすすめています。

整備効果

可動堰の改築により施設の安全性及び流下能力の向上を図ります。

事業着手

平成15年度

平成22年度の事業内容

本体堰柱及び堰に架かる管理橋の上部工やゲート設備工等を推進します。



(新規)・完成・(主要) 事業箇所 (直轄)・補助) 事業

よいた いわかた もとよいた
与板 (岩方、本与板) 地区弱小堤対策の推進
 にいがた ながおか
新潟県長岡市

事業の概要

長岡市与板地区の堤防は、与板橋下流の本与板地区から岩方地区の区間で、高さ及び断面が不足していることから、洪水時の安全度が低い状況となっています。
 本箇所では信濃川が氾濫した場合、与板地区中心部で甚大な被害が想定されることから、平成15年度から下流の岩方地区において事業に着手しており、引き続き上流の本与板地区の堤防整備と併せ、与板橋下流の一連区間で洪水に対する安全度を高めます。

整備効果

堤防のかさ上げ及び断面の拡幅により、与板橋下流の弱小部の解消を図るとともに、一連区間の治水安全度の向上を図ります。

事業着手

平成15年度

平成22年度の事業内容

【下流側 岩方地区】

黒川流末川の水を信濃川に排水する「岩方樋門」の改築に着手するとともに、引き続き堤防や護岸、岩方揚水機場樋門（新潟県より受託）の整備を推進します。

【上流側 本与板地区】

事業実施に必要な用地の取得を行い、与板橋～旧黒川水門間の堤防・護岸整備を完成させます。

位置図



昭和57年9月洪水時の状況



岩方地区 事業箇所位置図

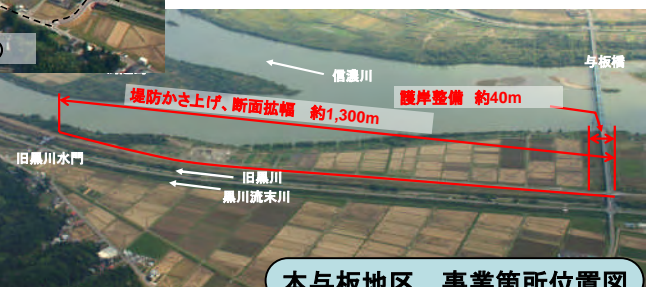


- 凡例
 H21年度～ ■
 H22年度～ ■
 H23年度～ (予定) ■

標準断面図 (岩方地区)



標準断面図 (本与板地区)



本与板地区 事業箇所位置図

(新規・完成・主要) 事業箇所 (直轄・補助) 事業

しぶみ がわ しもやま
渋海川 下山地区弱小堤対策に着手
 にいがた ながおか
新潟県長岡市

事業の概要

信濃川左岸の長生橋上流から渋海川左岸へと続く一連の堤防は、高さや断面が不足している弱小堤であり、本箇所でも氾濫した場合、被害が甚大となることが想定されます。

そのため平成21年度より、長生橋から上流1200mの区間で堤防の整備に着手しているところであり、平成22年度よりその上流に位置する長岡市下山地区の渋海川左岸堤防についても、下流の整備と一体的に治水安全度向上を図るため、堤防のかさ上げ及び断面の拡幅を実施します。

※本事業は新潟県が管理する渋海川において、河川法施行令第2条第7号*に基づき、国の直轄で実施するものです。

*河川法施行令第2条第7号(要約) 指定区間外の一級河川の改良工事の施行に伴い必要を生じた河川工事で当該改良工事と一体として施行する必要があるもの

整備効果

堤防のかさ上げ及び断面の拡幅により、渋海川から信濃川に至る一連区間で洪水を安全に流下させます。

事業着手

平成22年度

平成22年度の事業内容

渋海川左岸堤防のうち、新潟県との管理境界より上流の区間で、堤防のかさ上げ及び断面の拡幅等を推進します。

